

Challenging

OTSUMA Ranzan



大妻嵐山
ここでなら
できそう。

Otsuma Ranzan Junior and Senior High School

Global Eco-Science School

埼玉県比企郡嵐山町菅谷 558 0493-62-2281 大妻嵐山中学校高等学校 2021.5.6

「らしくあれ…」…嵐山の「伝統と文化」…

いよいよ嵐山での生活がスタート。新入生を嵐山生として迎え入れるイベントの始まりである。新入生の皆さんは、嵐山生である限り、大妻の伝統と文化を踏まえ、嵐山生としての自覚と責任を持ってほしい。

そこで、昨年「コタカ先生を偲ぶ会」の際に、生徒会長の中野さんのメッセージをご紹介します。

今回、私は『らしくあれ』という言葉についてお話します。コタカ先生は『学生は学生らしく、娘は娘らしく、社会人は社会人らしくあれ』などと一貫して教え、呼びかけてきました。また、『人間らしい人間、女性らしい女性、そして自分らしい個性を持って養い育てたい』とおっしゃっていたそうです。

私が思う自分らしさとは自分の殻に閉じこめられずに自分の本当の素を出せることだと思います。ですが好き勝手に行動するというのではなく、人に配慮し行動することも大切です。私自身、偽りのない自分本来の姿していると心も軽くなり、難しいと思われるような挑戦も頑張ろうと思えるようになりました。皆さんは普段の学校生活で自分らしく過ごせていますか？行事を乗り越える際に自分らしくいることができましたか？もう一度自分の心の中で問いただしてみましょ。また、自分らしくあるためにはクラスの雰囲気もとても大切だと思います。じぶんの本当の素を出せる環境づくりは一人一人が作っていかなくてはなりません。お互いがお互いを認め合い、協力してこそ自分らしくいられるのだと思います。

さて、新入生の皆さん…中野さんからのメッセージはいかがでしたか。嵐山の様々な「伝統と文化」に触れ、嵐山生としての覚悟をもって1日も早く「大妻嵐山生らしく」あってください。

…中学1年生 対面式…

4月9日(金)の1時間目に中学生徒会企画の「中学校対面式」が行われました。これは、入学したばかりの中学1年生が学校に慣れて、これからの中学校生活が充実したものになるきっかけの場とし、在校生にとっては進級して上級生としての意識や最上級生としての意識が芽生え、今年度の学校生活を充実させるきっかけとする。式では、中学校生活1年間の流れや大妻嵐山生の1日、そして途中には全員参加型のアイスブレイクやゲームを取り入れるなど先輩たちの愛情あふれる「おもてなし」が随所にみられるものでした。

… 新入生 歓迎会 …

4月9日(金)、生徒会企画として新入生歓迎会が実施されました。この企画は、新入生が嵐山での生活をスムーズにスタートできるように部活動や同好会の活動紹介を中心に歓迎の「おもてなし」をするものです。発表団体は、体育館ステージからの発表と事前に収録した動画を配信する形での発表でした。これらの発表を中高1は体育館で中高2・3年は教室で中継映像を教室でみるという形態で実施されました。



【自然観察会 2021】…「雨にもマケズ」嵐山の自然インタープリター…

4月17日(土)に、中学1年生が大妻嵐山周辺の自然観察会を実施しました。雨が降りしきり中の自然観察でしたが、自然観察指導員のボランティアの人たちとともに、いろいろな「自然しらべ」ができたのではないでし



ようか。皆さんも「自然観察からはじまる自然保護」を合言葉に、地域に根ざした自然インタープリター・ファシリテーターとしての自覚と自信をもつことができたのではないのでしょうか。

“自然観察会をする→たくさんの人に自然の魅力に気づいてもらう→自然を大切にしようと思う仲間を増やす→豊かな自然を次の世代に引き継ぐ”等々。こうした自然保護活動のつなぎ役として一人一人の出来ることはたとえ小さくても、思いを持った人が全国各地で少しずつでも活動

することで、たくさんの仲間をつくることができます。そして、仲間の思いが集まれば、社会を変える大きな力になります。自然を大切にしたい！その思いをもって嵐山の自然の魅力について発信をしていきましょう！



【大妻さくらフェスティバル 2021】 大妻女子大学では、これまで地域貢献、地域文化の内外への発信を目的に、「千代田学事業報告」・「地域諸団体による魅力的なパフォーマンス」「地域連携プロジェクト発表」等を内容とする「大妻さくらフェスティバル」を毎年開催しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、2021年は非対面方式での開催となりましたが、このフェスティバルのパンフレットの表紙デザインとして応募した3名の作品が表彰を受け、裏表紙に採用されました。

高2 伊藤千尋さん

高3 篠沢雪乃さん

高2 金岡きさらさん



【防災訓練】…訓練・訓練、そして訓練…

4月22日、防災訓練を実施しました。当たり前ですが、災害はいつやってくるかわかりません。だからこそ、日頃の心がけや普段からの訓練が必要です。



また、災害はいろいろなケースが考えられます。その場、その場の状況に応じた判断が必要でしょう。皆さん、よく考えてみてください。地震が発生した時は、職員室などでも人が動けないような揺れに襲われるでしょう。さらに書類が落下したり、机が移動したりして通路を塞いでいる可能性もあります。放送しようと思ったら、停電していたり、地震で機械が壊れていたりして放送できない可能性もあります。そして、放送できたとしても全ての教室に届くとは限りません。スピーカーが壊れていれば、その教室には情報を届けることはできなくなるのです。つまり、何が言いたいのかというと学校の防災訓練で大事なことは指示がなくても動けるようになることなのです。今回の訓練では、皆さんとても素晴らしい避難の様子が見られました。しかし、いくら訓練でできても本番でできなければ意味はありません。では、どうすれば本番でしっかりできるのでしょうか。一人ひとりが災害に対する意識を高めて、様々な場面を想定した緊張感をもって訓練に向かうこと。やっぱり、最後は訓練しかありません。いい準備をしてしっかりと本番?(あってほしくないのですが)に備えましょう。

【おやじの会からのエール】～「娘のため・学校のため・そして〇〇のため」…

4月24日、嵐山の熱烈なサポーター「おやじの会」より、体育祭の各応援団長に激励金が贈呈されました。「おやじの会」は、いつも学校のために様々な環境整備やイベント等でのサポート、そして冬にはピロティにイルミネーション等々、「娘のため・学校のため」に日夜ご尽力いただいています。今回は、体育祭の開催にあたり、各応援団の団長に愛情のこもったお祝いをプレゼント。本当にいつもありがとうございます。当日は保護者の参加はありませんが、おやじたちの心強いエールをいただき、皆さんも精一杯のパフォーマンスでお返ししましょう。

